

---

# NEO ストーリー

ロボット侍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

NEOストーリー

### 【Zコード】

N94690

### 【作者名】

ロボット侍

### 【あらすじ】

この国に存在する二つの者、

殺し屋クロと防人。

殺し屋を辞める、悪魔のジョーカー、黒金裁鬼と

防人、白岩希との出会いから始まる物語。

## 悪魔のジョーカー（前書き）

今、書いている「仮面ライダーキロ」の内容が浮かばないので、友達と製作中の作品を投稿しました。  
誤字脱字などがありましたら、お手数ですが、ご報告をよろしくお願いします。

## 悪魔のジョーカー

俺は殺し屋だった。

世界で最強の殺し屋、クロの一人だった。  
だが、あの防人に助けられて俺の人生が変わった。

この国には二つのものがいる。

防人、一般市民を守るもの。

クロ、アルファベットに並べられた殺し屋。

俺は目を開けた。

そこは見慣れない天井。

見たことないベッドの上。

そうか俺は生きているのか・・・

「あら、起きましたか？」

俺の目の前には見慣れない女。  
俺は鋭い目でその女を見る。

「何者だ？」

女はアニメのような声で

「私は防人、あなたはクロ。敵対どうしよ。」

「なぜ、俺を助けた？俺は」、Jのナンバー、悪魔のジョーカーだ  
ぞ。お前らはクロを殺すんじゃないのか？」

女は俺の前に水を置いた。だが俺は水には目を向けない。

「私達は防人。どんな人を守る人です。クロも関係ありません。」「お前、死にたいのか？」

俺は近くにあつた自分の武器、「ガイア」を手に取った。

「あなたのその怪我で私を殺せますか？」

俺は自分の体を見た。

そこには包帯でぐるぐる巻き撒かれていた俺の体があつた。

「ぐ・ぐ・ぐ。」

「今、少しでも休んで、怪我を治してから私を殺しに来て下さい。」

女は俺の体をベッドにせきしめて、掛け布団をかけた。

「私の名前は白若希しらわかのぞみ、あなたの名前は何？」

なんだ、こいつ？

「俺は名前は名乗らない、俺は悪魔のジョーカーだ！」

「それはあなたの「コードネーム」でしょ。私が聞いているのは名前よ。な・ま・え！」

「うるさい、女だ。」

「クロのメンバーは名を使わない。」

俺はベッドから降りた。

自分の武器、「ガイア」をもって寝ていた部屋から出た。

「ジヨーカー……」

白咲希と名乗る女はそつそつと歩いた。

俺は暗い道を歩いた。

俺の名は黒金裁鬼。  
くろがねさばき

この世で最高の殺し屋、クロのメンバーだ。  
クロの掟の一つに”誰にも助けられてはいけない”とこうものがある。

俺はこれを破つたことになる。

破つた場合、その場で死ぬか、最死のオメガとこう名のクロの王の前でクロをやめるしかないのだ。  
クロをやめたとしても、町に出て命を狙われるのどちらしかない。  
結果命を狙われる人生になる。

俺は一つの古びた教会に着いた。

そこはクロのメンバーの溜まり場である。

腐ったドア蹴りあけろ。

ドンッ！

周りのやつらがこちらを見る。

「悪魔のジヨーカー、お前、防人に助けられたらしいなあ。命を絶ちにきたかあ？」

まず、俺の前に現れたのはこのナンバー、真黒のクロウ。  
剣を常の常備しており、クロの中でいちばんの剣使い。

「真黒のクロウ、邪魔だ、どけ」

俺は無視するようにそこを過ぎた。  
もひ、ここまで話が回ったかあ・・・

教会の奥に一人の男が座っている。

この男こそ、クロの王、最死のオメガだ。

「悪魔のジョーカーはここで、クロをやめる事となる。消えろ。」

来てそりやうに言われる、クビ。

「ああ、やめてやるぜ。まだ命を絶つ気は無いからな、じいりで消えさせてもらひ。」

俺は自分の武器、ガイアを最死のオメガの前に向けた。

「おまえに一つ、言いたいことがある。俺の名は悪魔のジョーカーのままだ。これだけは覚えておけ。」

「用無しの名など覚えるきわない。好きに使え。」

俺はその場から立ち去った。

そして、殺し屋ではない俺の人生が始まった。

## 悪魔のジョーカー（後書き）

武器「ファイル

「ガイア」

悪魔のジョーカー、黒金裁鬼が使う武器。

武器の種類は鎌である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9469o/>

---

NEOストーリー

2010年11月16日05時17分発行